

活動報告書

作成者
開沼 敬三

活動名 國學院大學授業フィールドワーク支援 2026年7月4日 10:00~16:00

場所 木もれびの森（体験） 担当者 平野、黒岩、白川、川口（AM）、開沼 計5名
大野中公民館（座学）（敬称略）

- 概要
- ◎ 概要：相模原市と國學院大學との包括連携協定に基づく連携事業として、多くの市民に親しまれている「木もれびの森」についてフィールドワークを実施する。学生はナラ枯れ被害や樹木の高木化・老木化の進行など森の変化を実感し、それらを踏まえ、みどりの拠点としての有効活用について検討して提案することになっている。
 - ◎ 今回は「木もれびの森の森づくりとその保全に関する作業」を実体験する
 - ◎ 主催者：相模原市環境経済局森林政策課・水みどり環境課
 - ◎ 参加者：國學院大學観光まちづくり学部 南雲（なぐも）勝志教授・学生12名
 - ◎ スケジュール・内容
 - 10:00～ 市職員・大学関係者は中央緑地に集合した後、森の観察をしながらA地区オルガノ側へ移動
 - 10:40～ A地区オルガノ側で当会員と合流し、当会員による伐木作業を見学した。その後、安全作業の心得、身支度を行い、手鋸による伐木した木の枝払い作業を体験
 - 11:20～ 薪割体験を実施
 - 12:00～ 午前の部を終了し、大野中公民館へ移動
 - 13:30～ 座学（森林政策課・水みどり環境課・NPO法人相模原こもれび）
質疑応答・学生による振り返り
 - 16:00 終了
 - ◎ コメント：学生からは出身地の森と違って「木もれびの森」は人の手で管理された森で新鮮な印象を持ち、森に対する見方が変わったなどの感想があった。学生から色々な視点で見た有意義な提案があることを期待したい。



伐木見学風景（作業説明）



枝払い作業体験



薪割体験①



薪割体験②



座学（相模原市）①



座学（当会）②

以上